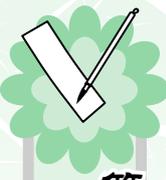


鏡野万葉のみち青少年文芸選奨・香々美川文芸選奨

第二十二回鏡野万葉のみち青少年文芸選奨と第十二回香々美川文芸選奨に寄せられた多くの作品の中から入賞者が決定しました。(敬称略)



第二十二回 鏡野万葉のみち

青少年文芸選奨受賞作品

現代詩の部

【小学生の部】 [中学生の部]

〔入選〕 《佳作》 該当なし

〔青年の部〕 応募なし

短歌の部

【小学生の部】

〔入選〕 香々美小学校五年 渡辺 祐里

カチャカチャカチャ

鳴子をもつてうらじゃをおどる
かっこいいんだ音がそるえは

〔佳作〕

香々美小学校二年 かめ川 ももか
魚とりここにおるでとうるさいな
とつたらええがみかしますよ

南小学校五年 井上 嘉一郎
まる二日飛行機乗りつぎ着いた国
ねつれつかんげい来たかいいあった

【中学生の部】

〔入選〕

鏡野中学校二年 武川 美樹
空高く咲いては消えるその花は
夜空を飾る光の花束

〔佳作〕

上齋原中学校三年 石田 晃暉
庭先の常連客のムクドリが
ぼくより先に朝食タイム
上齋原中学校一年 片田 元太
ヒマワリが暑そうだよと妹が
傘をちよこつと差しかけている

〔青年の部〕

応募なし

俳句の部

【小学生の部】

〔入選〕

香々美小学校六年 杉田 朱希
だんごむし恥ずかしがらずでおいで

〔佳作〕

南小学校五年 玉置 晨作
くつ箱の主なきくもの巣をはらう

香々美小学校六年 渡辺 愛香
ちようちよどこまで行くの教えてよ

〔中学生の部〕

〔入選〕

奥津中学校三年 和田 梓
雨の中一人旅するかたつむり

〔佳作〕

鏡野中学校一年 住吉 七海
ゆかた着てはしゃぐ君を見る僕

鏡野中学校二年 光吉 成未
夏空に一直線の飛行雲

〔青年の部〕

応募なし

川柳の部

【小学生の部】

〔入選〕

大野小学校六年 藤田 賢
参観日母の香りはナフタリン

〔佳作〕

南小学校六年 竹下 知宏
水やりを待ってた花が笑ってる

香々美小学校四年 一ノ瀬 隼
いつもよりホテルのごはん食べすぎる

【中学生の部】

〔入選〕

鏡野中学校三年 平野 義明
丑の日や産地偽装の鰻食べ

〔佳作〕

鏡野中学校三年 井口 千景
ラムネ飲むむいっばいに泡おどる

上齋原中学校二年 渡邊 ささき
赤とんぼご先祖様とやってくる

〔青年の部〕

応募なし

『宇佐見賞』

短歌の部

香々美小学校五年 坂田 ほのか
田うえあと田んぼに虫がこんにはは

いねかりしたよさあもちつきた

上齋原中学校三年 藤木 悠希
気合入れラケット背負う妹に
去年の私を映して見てる

俳句の部

上齋原小学校六年 近藤 昭憲
秋の日はすこし悲しいきもちだな

鏡野中学校一年 表江 紀誓
朝もやに浮かぶ山寺鐘の音

短歌の部

〔大賞〕 該当なし

〔香々美川賞〕

鏡野町越畑 頼経 照子
庭木木を結びて張れる蜘蛛の巣は
かすかなる露を宿し光れり

〔優秀賞〕

鏡野町吉原 池田信子(政影信子)
倒木の数多横たわりいつよりか
見知らぬ茸を育みている

〔奨励賞〕

吉備中央町円城 国只 由紀子
雑草のはびこるまの荒畑に
月見草一株ひっそりと咲く

俳句の部

〔大賞〕

津山市宮部下 杉山 秋子
農譲り青田の風に身を癒す

〔香々美川賞〕
鏡野町古川 井口 昌子
湯上がりの娘と仰ぎいる星月夜

〔優秀賞〕

鏡野町河本 池田 みや子
口笛の稲田を渡る夕茜

〔奨励賞〕

備前市吉永町 山下 美男
岩清水大き手で汲む測量士

川柳の部

香々美小学校三年 宗安 愛美
かきこおりゆつくりひとくちむしばだよ

鏡野中学校一年 木原 慎一郎
すしくわすガリがだい好きお母さん

第十二回 香々美川文芸選奨受賞作品

川柳の部

〔大賞〕

笠岡市吉田 吉岡 琴美
北風の中で私を彫ってゆく

〔香々美川賞〕
津山市林田 菅田 陽子
やっと咲かせた花は小さな白だった

〔優秀賞〕

矢掛町宇内 三宅かずこ(和子)
お喋りな川の小石に耳を貸す

〔奨励賞〕

鏡野町上森原 高田釣狂(惇三)
詫びつ、も今日は市ゆく父の杉

『宇佐見賞』

短歌の部

鏡野町寺和田 藤岡 昭子
水門を開けばそこより滝となる
にこれるままのほのぬくき水

俳句の部

津山市宮部下 林 勝義
ひまわりや伝い歩きの子の笑顔

川柳の部

岡山市山崎 山本 美枝
今少し帰りたいくない茄子の馬